



**市民の立場で
とことんがんばる**

日本共産党

つみ栄三 えいぞう
50才

大分民報 2007年2月号外 発行／大分民報社
大分市中津留1-2-8 TEL:097-558-0652 FAX:097-552-3251
日本共産党中央地区委員会は、つみ栄三の歩みと活動、政策を発表しました。
あなたのご意見・ご要望をお寄せください。

塗装業 河野 正則
(大分民主商工会会長)

医師 佐藤 秀樹
(県医療生協理事長)

医療現場では、貧困と格差の広がりのなかで、「国保税を払えば、医療費が払えない」「入院の必要な患者が入院できない」など、病院にかかりにくくなっています。憲法25条で保障された生存権を守るためにも共産党をもっと大きくしなければなりません。私は「共産党で世直し、一票一揆」と呼びかけています。



医療問題で対談する佐藤医師とつみさん

つみ栄三さんを ふたたび、県議会に

**業者の願い実現に
なくてはならない議席**

つみさんは、私たち中小業者と、苦楽をともにし、20年間働いてきた人です。こうした経験や実績を生かし、県議時代は、融資制度改善、中小業者の仕事おこし、親会社からの下請けいじめに対する指導など、たくさん仕事をしてくれました。この4年間バッチはないけれど、県交渉、税務署交渉にと、いっしょに中小業者のくらしと営業を守る運動にがんばってくれました。私たちの願いを実現するために、どうしてもつみさんの議席はなくてはならないものです。



～生活相談はお気軽に～
つみ栄三ホットライン
事務所☎556-3002
FAX☎556-3093

「一票一揆」で世直しを

切実なつみさんに 願い期待します

ばいじん公害なくして



今別府 了 72歳(萩原)

ばいじん公害に日々悩まされている一人です。網戸に付着したばいじんを毎日のように掃除しています。風邪をひいてぜんそくがひどくなって病院にいったら、「これは本来のぜんそくではない、ばいじんせいではないだろうか」と医師に言われました。

新日鉄など大企業に堂々と物が言えるのは共産党のつみさんだけです。住民の健康を守るためにがんばってもらいたい。

1回500円が大きな負担に—乳幼児医療費は無料に

1歳になる娘は、アトピーがひどく、なにかと出費がかさみます。夜間緊急で病院にかかり、お金がないとき窓口で現金を支払わなければならないかと思うと気が重たくなってしまいます。住む地域や年齢で医療費の差をつけないでほしい。乳幼児医療の無料化と就学前までの拡充はすべての母親の願いです。つみさんといっしょに実現したい。



東田 公子 31歳(羽屋)

私たちの願いがとどいた!シャワーが実現



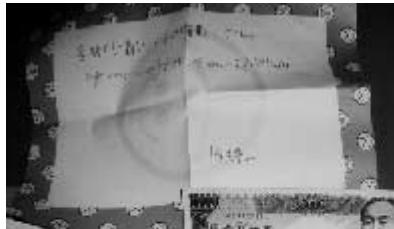
田辺 フサ子 80歳(大津町)

「風呂にシャワーをつけてほしい」「浴槽が高く危ない」—県営住宅に住む、私たち高齢者の声をとりあげていただき、アンケート活動や県交渉。三棟にシャワー設置の工事が始まりました。私たちの願いをまっすぐとどけてくれるつみさんは、地元にとってもなくてはならない人です。

みんなの願いとどけます—つみ栄三のお約束

- 増税ストップ、無駄づかいをただし、福祉・教育優先に
- 医療・国保・介護の改善、乳幼児医療費の無料化をめざします
- 青年の雇用確保、中小業者の仕事おこしをすすめます
- 教育基本法の改悪実施や学校選択制のおしつけ中止の声をとどけます
- 憲法9条を守り、日出生台での米軍演習を許さず、郷土の平和と安全を守ります

くらしが大変なときだから頼りになるつみ栄三さんの出番です



故住吉栄三氏からの励ましの手紙

●多くの人の励ましが支えに
つみさんは、落選した後、支援者からの激励で勇気をもつたといいます。苦しいときについても見なおすのが住吉栄三さん（元県商連会長 故人）から病床で手渡されたはげましの手紙です。それはふるえる手で書かれた「栄三がんばれ」と力ノバ。なんとしても「議席奪還」をと新たな決意を燃やしています。

2003年2期目挑戦で惜敗。「格差と貧困」をなくし、「県民の暮らしをより良くしたい」への思いでがんばつきました。

1回500円の負担が大変なんどすといつ3人の子どもを抱えるお母さん方とともに、就学前までの医療費無料化めざし、署名や請願などねばり強く運動をすすめています。また障がい者の負担軽減を求め、通所授産施設や児童デイサービス利用者への支援策の実現に力をつくしました。

県警の裏金問題でも知事に対し特別監査請求。大企業キヤノンへの「お手盛り」の補助金の見直しを申し入れたのは、日本共産党だけでした。

県民の願いを届け、厳しいチェック役を果たせる、試され済みの政治家こそ今の県政に必要です。



環境省交渉

●多くの人の励ましが支えに

つみさんは、落選した後、支援者からの激励で勇気をもつたといいます。苦しいときについても見なおすのが住吉栄三さん（元県商連会長 故人）から病床で手渡されたはげましの手紙です。それはふるえる手で書かれた「栄三がんばれ」と力ノバ。なんとしても「議席奪還」をと新たな決意を燃やしています。

つみ栄三プロフィール

■ 1956年（昭和31年）11月生まれ
■ 小・中・高を臼杵市で
■ 熊本商科大学卒業
■ 大分民主商工会で20年勤務し、事務局長を務める
■ 現在、党県政対策委員長
■ 家族、妻（昌子）次男（勇気21才）三男（浩太14才）と4人暮らし、長男（大輔24才）は県外で就職



栄三のひと

母 さかえ 85歳

栄三は芯が強く、ケンカをしても引きませんでした。とても友達思いで約束したら必ず実行していました。

自宅で亡き主人の介護を長年続けましたが、頭を栄三が、私が足を支えていたが、体を起こしてあげていました。栄三がいなかつたら自宅療養はできなかつと思ひます。父親思いの子でした。私は最初はまさか「共産党なんて」と思っていましたが、栄三の

がんばる姿を見て83歳で入党しました。大分市の知人から「今日、栄三さんが演説していたで」と聞くと勇気づけられます。私はいま思うように体は動きませんが、電話で支持を訴えることはできます。暮らしに困る人々のために体に気をつけてがんばってほしい。

この思いがつみさんを県議選への立候補へと決意させました。



県交渉

●市民の願い実現へ 県政へ国政を結んで

2003年2期目挑戦で惜敗。「格差と貧困」をなくし、「県民の暮らしをより良くしたい」への思いでがんばつきました。

1回500円の負担が大変なんどすといつ3人の子どもを抱えるお母さん方とともに、就学前までの医療費無料化めざし、署名や請願などねばり強く運動をすすめています。また障がい者の負担軽減を求め、通所授産施設や児童デイサービス利用者への支援策の実現に力をつくしました。

峡大橋を見直しに追い込む力となりました。さらに父母・教師と共にしたねばり強い運動で30人学級実現（04年度）の足がかりをつくりました。

●市民の願い実現へ

県政へ国政を結んで

1999年4月、県議に初当選したつみさん（一人とも新人（加藤純子さん・別府市選出）でした。しかし県議会での発言回数は、4年間（99年～02年度）で48回と、他の議員を寄せ付けない群を抜く回数でした。次々に発覚した自民党県議の贈収賄事件で辞職勧告決議案を提案し、腐敗根絶のために奮闘しました。

またむだつかいの大型開発を一貫して追及し、豊予海峡大橋を見直しに追い込む力となりました。

さらに父母・教師と共にしたねばり強い運動で30人学級実現（04年度）の足がかりをつくりました。

●県議会での発言回数 ダントツの48回



一般質問での追及

決意新たに「ぜひともまた働くがせんぐださい」

4年前、次点で惜敗したつみ栄三さん



つみさんは、1956年（昭和31年）竹田市で4人姉兄の末っ子として生まれ、その後警察官だった父親の転勤で臼杵市に移り住み、青少年時代を過ごしました。

警察官だった父親（浩さん）は、とても正義感のある人で、父親の背をいつもみていたつみさんは、いつしか父のようになくなりました。その父親も背筋をわざりつて杖なしでは立てない体となり、10年以上の闘病生活ののち他界、つみさんが高校2年生の春でした。小・中・高時代は、水泳、バレーボール、バスケットボールなどで汗を流し、かたわら保険の外交員として働く母を助けるために、暑い日も、寒い日も、めげずに酒屋のバイトで家計を支える手助けもしました。

警察官だった父親（浩さん）は、とても正義感のある人で、父親の背をいつもみていたつみさんは、いつしか父のようになくなりました。その父親も背筋をわざりつて杖なしでは立てない体となり、10年以上の闘病生活ののち他界、つみさんが高校2年生の春でした。小・中・高時代は、水泳、バレーボール、バスケットボールなどで汗を流し、かたわら保険の外交員として働く母を助けるために、暑い日も、寒い日も、めげずに酒屋のバイトで家計を支える手助けもしました。

日本共産党との出会いが人生の転機に

人生の転機に

熊本商科大学（現熊本学園大学）で、「中小企業論」を学び、事業主でありながら一方労働者であるという中小業者の2つの面を知り、じどうに社会と政治に強い関心をもつようになりました。当時熊本市内での日本共産党演説会で不破哲三委員長（当時）の安保問題での話を聞き、「この党こそ正義の味方」であることに確信し、入党しました。大学4年の春でした。



友達の誕生会で